

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		消防施設管理費〔消防水利施設の維持管理〕									
予算科目	款	9	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費	事業番号	1
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	防災安全 課 消防 係					課長名	東 栄一				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 6	
【施策名】 防災・防犯体制の推進									総合計画書(ページ)	93	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	消火栓・防火水槽 →					消火栓・防火水槽の設置箇所数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
消防法に基づく消防水利の基準を満たし、適切な状態で維持する。 →					消火栓・防火水槽の新設箇所数						
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
消火栓・防火水槽の新設等 →					消火栓 3箇所廃止 防火水槽 1箇所新設 防火水槽 1箇所解体						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	箇所	1,004	1,008	1,005					
	成果指標	②の数値	箇所	7	4	-3					
	目 標	②の目標値		0	0	0					
		目標値設定の考え方									
		活動指標	③の数値	箇所	7	4	-3				
3 経費	事業費(実績)		円	28,512,082	39,540,056	29,850,735	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	一般財源		円	28,512,082	39,540,056	29,850,735					
	特定財源		円	0	0	0					
	(うち受益者負担)		円	0	0	0					
	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1	0.1					
	所要人数(再任用)		人	0	0	0					
	職員人件費(再任用以外)		円	412,650	824,400	831,000					
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	28,924,732	40,364,456	30,681,735						
4 環境変化等	(1) 開始年度		19 年度								
	(2) 環境の変化		法第20条第2項に基づき、従前は、市水道事務所が「消防に必要な水利施設」(消火栓)の維持管理を行ってきた。平成19年度に市水道事務所の受託業務が東京都へ移管されたことに伴い、東京都水道局と協定を締結し、これ以降、修繕工事等の施工は東京都水道局が行うものの、市の責任において公設防火水槽及び消火栓の維持・管理を行っている。								

事業名称	消防施設管理費[消防水利施設の維持管理]			
担当部署・課長名	防災安全	課	消防係	係 課長名 東 栄一

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 自治会や市民から、随時、消火栓蓋や標識の劣化について情報提供があった。 消火栓標識の劣化があるため、市民から撤去の要望があった。			
	6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)		
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ		取組手法：防火水槽及び消火栓劣化状況について調査・情報提供をしてくれた自治会があった。		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 自治会や市民から、随時、消火栓蓋や標識の劣化について情報提供があった。 消火栓標識の劣化があるため、市民から撤去の要望があった。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3))を転記) 消防水利施設の劣化状況の把握や適正管理を行うにあたり、防災貯水槽の管理台帳を作成したことから、今後は台帳を活用していきたい。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 消防水利施設の劣化状況の把握や適正管理を行うためには、多大な時間を要することに加え、劣化状況を市の職員が把握する必要があるが、このうち、消火栓の維持・管理は、東京都水道局において実施しているところである。また、平成30年度から、消防係において防火貯水槽の維持・管理を行っているが、除草等を外部委託することにより、効果的に事業を実施したところである。平成31年度においても、効率的な維持・管理に努めてきた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)			
	予算の確保。			
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 防災・防犯体制の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 予算の確保。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 効率的な消防水利施設等の維持・管理を行うにあたり、引き続き、業者による標識の撤去・新設を行う必要がある。			